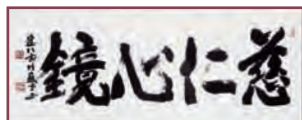




関西医科大学 広報

Kansai Medical University Public Relations



建学の精神

本学は、慈心仁鏡、すなわち慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として生きる医人を育成することを建学の精神とする。



Kansai Medical University

歴史を礎に“将来展望”示す

創立80周年記念式典・講演会に1,400名出席



記念講演される京都大学再生医科学研究所・山中伸弥教授

CONTENTS

創立80周年記念式典・講演会

2

高度医療人育成制度について

4

法人

4

大学

6

学事

6

図書館

8

病院

9

第11回市民公開講座

12

卒後臨床研修センター

13

附属看護専門学校

13

キャンパス ニュース

14

メディア情報

15

教育水準高く、経営的にも安定した大学に



塚原理事長

大阪女子高等医学専門学校に始まり関西医科大学になって80年の時を重ねました。創立80周年を迎えた本学では、平成20年11月1日（土）、枚方市民会館大ホールで記念式典・講演会を開催、塚原勇理事長、山下敏夫学長の挨拶に続き、世界で初めてマウスの皮膚細胞からiPS細胞を作り出すことに成功された京都大学再生医科学研究所の山中伸弥教授による記念講演が行われました。近隣大学の理事長・学長や北河内の各医師会長らの来賓、名誉教授、本学の教職員、学生、それに保護者、同窓会員らも出席、総勢で1,400名の盛大な祝典となりました。



山下学長

今後の10年で理想的な環境づくり推進

創立80周年記念式典は、午後2時から精神神経科教授・木下利彦実行委員会委員長の総合司会のもと開演しました。まず、創立80周年記念事業の一環として制作されたDVD「行動・飛躍する関西医科大学」が初公開され、本学の歴史、教育、研究、診療などについて映像と音で紹介がありました。

続いて塚原理事長が「本学80年の歩み」と題し、本学の創設期から幾多の困難を乗り越え今日に至った経緯などについて語りました。教育改革では、軌道に乗ったチュートリアル教育、研究成果では、21世紀COEの選定を受けたことなどについてです。教職員に向けては、「今後も引き続き苦難に耐え努力して創立100周年には、現在より一層教育水準の高い、経営的にも安定した大学にしたい」とのメッセージを伝えました。

山下学長は、「本学の将来展望」をテーマに挨拶。現状を踏まえた上で将来の夢が具体的に語りました。「大阪女子高等医学専門学校創立時、関西医科大学へ名称変更になった時、そして今回、枚方新学舎建設に向け第三の節目を迎えたこと」。そのためには「財政基盤の盤石化を図り、今後の10年で理想的な教育研究環境を整備し

たい。また、大阪北東部の健康・医療・福祉を担う」など本学の歩むべき道、使命について明確に示しました。その他、高度医療人の育成、（スーパードクター構想）、平成22年8月開院の新香里病院を含む病院の再編などについても構想を述べました。最後に、創立80周年を迎え「前向きに飛躍を願う。夢の実現のために教職員に協力をお願いしたい」と教職員全員が一丸となることの重要性を語りました。

「visionに向かって、後はhard work」

山中伸弥教授からエール

記念講演は、澤田敏副学長を座長に、京都大学再生医科学研究所・山中伸弥教授による「iPS細胞（人工多能性幹細胞）の可能性」を演題に行われました。同講演は学園祭開催中の牧野キャンパスにも同時中継され、教職員、学生ら約70名が教室に集まりました。

山中教授は平成19年11月22日「iPS細胞作製の成功」がブッシュ米大統領の声明とともに報道されて以来、iPS細胞研究のトップランナーとして世界の脚光を浴びておら



山中教授を囲んで塚原理事長、山下学長ら法人役員、教授、名誉教授、来賓らが記念撮影

れます。大学時代のラグビーの試合終了後の写真を投射しながら、整形外科医（スポーツ医学）を選んだ理由、治らないリウマチ患者の写真を示され、基礎医学研究に進んだ経緯から、24因子からiPS細胞作製と病気の原因解明や薬効、副作用の評価やALS（筋萎縮性側索硬化症）の再生医療への応用に至るiPS細胞の可能性まで、わかりやすくユーモアにあふれた語り口で満員の聴衆を魅了されました。

大学院での薬理学の研究手法に限界を感じられ、トランスジェニックマウス、ノックアウトマウスの研究へ転進されたこと、再生医療を含め、発生、分化が着目されている時代に、反対の細胞の初期化（脱分化）の研究に進まれたことなど、学生へのメッセージとして思考の柔軟性と研究における仮説（vision）を実証するための実行性を強調されました。

留学後、「医学関係者ならご存知のPADにかかった」と話され、そんな病気があったかなと聴衆の注意をひきつけられた後、Post America Depressionとして、「英語がない」「セミナーがない」「お金がない」「ディスカッションがない」「ネズミの世話地獄」という日本の基礎研究の現状を話され、現状を打破するため“はったり”をきかされ、奈良先端科学技術大学院大学に職を得られた話をされました。“はったり”



いっぱいの人で溢れた枚方市民会館大ホール

（有言実行のこと）は、フォルクスワーゲン（VW = Vision and hard Work）車を示され、visionはhard workで実現できることを具体的にご自身の体験をまじえて話され、本学法人の中長期経営ビジョンに対してはhard workで実現できるとエールを送っていただきました。本学に深い関わりをもたれている山中教授のご講演は“iPS細胞作製に至るまでの科学者としてのときめきとその可能性にかける夢”そのものであり、高度医療人の育成と高度先進医療の推進を目標としている関西医科大学教職員、学生・保護者、同窓生に強いインパクトを与えました。



牧野キャンパスに同時中継

プログラム

1. 開演	14:00
2. 大学紹介DVD上映	14:05
3. 理事長挨拶「本学80年の歩み」	14:25
学校法人関西医科大学 理事長 塚原 勇	
4. 学長挨拶「本学の将来展望」	14:40
関西医科大学 学長 山下 敏夫	
5. 来賓紹介	14:55
6. 記念講演	15:00
演題 iPS細胞の可能性	
演者 京都大学iPS細胞研究センター センター長 京都大学再生医科学研究所 教授 山中 伸弥 先生	
座長 副学長 澤田 敏	
7. 終演	16:30
総合司会 記念式典・講演会実行委員会 委員長 木下 利彦	

創立80周年記念事業 DVD完成、研究者・研究業績DBをweb公開

創立80周年記念事業の一環として取り組んでいました大学を紹介するDVDの制作と研究者データベース・研究業績データベースのweb公開の二つが完了しました。記念誌「関西医科大学八十年の歩み」は、12月下旬発刊予定です。

DVDは、「学校法人 関西医科大学創立80周年記念一行動・飛躍する 関西医科大学」=写真=をタイトルとして、本学の歴史、現在の姿、将来展望を映像化しました。10月下旬に教職員、名誉教授、同窓生、学生保護者、看護学生保護者ら多くの人々に配布しました。本学の理解を一層深める一助としてご覧いただけましたら幸いです。

研究者・研究業績データベースは、11月1日にweb公開することができました。まだまだ不十分なところはありますが、データ修正は、いつでも可能ですので、教員情報についての確認をよろしくお願いいたします。

研究者・研究業績データベースへは、大学のトップページ (<http://www.kmu.ac.jp/>) の左にある「教員検索・業績検索」をクリックしてください。



法 人

本学の高度医療人育成制度について

高度医療人育成委員会（アドホック委員会）委員長 松田公志

基礎医学での新規発見や新たな医療機器、薬剤の開発などによって、臨床医学は日々著しく進歩しています。最先端の臨床技術や診療体制を導入することは、高度先進医療を担当する大学病院、特定機能病院にとって、生き残りをかけた重要課題といえましょう。

本学は、これまでも多くの分野で先進医療を導入してきましたが、さらなる飛躍を目指して、このたび、山下敏夫学長の強いご意向のもと、本学教員を対象とする独自の**高度医療人育成制度**を設けることになりました。これは、従来の各領域の専門医、指導医のレベルを超えて、いわゆるスーパードクターを育成しようとするものです。本学の若手医師を、国内外の、その分野の世界のトップの医療施設に留学させ（「臨床留学」と呼びます）、最先端の診療技術や診療体制を習得し、世界で通用する医師を育成するとともに、本学の診療レベルの向上を目的としています。

本制度について討議するアドホック委員会が組織され、下記の内容を骨子とする、「関西医科大学高度医療人育

成制度に関する規程」が制定されました。

本制度は、平成21年度から導入が検討されています。本制度によって、本学の臨床医としてのキャリアパスは、

- ① 関西地区の他学他施設を含めた卒前臨床研修
- ② 枚方・滝井病院での充実した卒後初期研修
- ③ 専門医を目指す指導体制の整った各科での専門研修
- ④ 大学病院間連携の医療人養成（大阪医科大学、京都大学などとの連携）
- ⑤ 高度医療人育成制度

と、ますます充実してきたといえるでしょう。本制度に多くの本学若手医師が応募され、多数のスーパードクターが本学で生まれることを期待しています。



高度医療人育成制度の骨子

1. 本制度の対象は、本学の助教以上で、原則として、医師免許取得後10年以上、かつ専門医を取得している者とする。なお、医学博士の学位を取得していることが望ましいが、必ずしもこの限りではない。
2. 臨床留学は、原則として1年以内とするが、状況によって2年まで延長することができる。
3. 本制度への応募は、学内の公募とし、習得する診療技術・診療体制の内容と本学への貢献度などを基準に、選考委員会で毎年若干名が選考される。
4. 臨床留学者には、旅費とともに、基本給、家族手当及び住宅手当からなる給与が支給される（100%給付）。ただし、留学先から給与が支給される場合は減額されることがある。
5. 臨床留学中の教員は定員外とし、所属する講座・診療科は別に新たに教員を採用することができる。
6. 臨床留学を完了した者は、留学前と同様の身分で講座・診療科に復帰できる。
7. 臨床留学者は、復帰後5年以上本学で勤務し、習得した診療技術・診療体制により、本学の診療レベル向上に寄与しなければならない。

医学部定員数10名増の110名を申請

平成21年度関西医科大学の入学定員増員計画

本学では、文部科学省高等教育局長通知「地域や診療科の医師確保の観点からの医師養成の推進について」を受けて、医学部定員数を10名増員の110名とする平成21年度関西医科大学（医師養成課程）の入学定員増員計画をこのほど申請いたしました。

申請の概要は、関西圏における医師不足の地域（泉南地区など）及び診療科（産婦人科・小児科・救急医学など）の解消を目的として、特別枠（医師不足地域・診療科枠10名）を創設するもので、当該特別枠による入学生には奨学金を優先貸与したうえで、特別実習プログラムを実施し、卒後は奨学金の返済免除規程を適用することにより上記地域・診療科の従事を課し、同地域・診療科の医師確保

を目指すというものです。

概ね申請どおりの定員増員が認められる見込みですが、正式決定は12月中旬となります。

平成20年度新入職員フォローアップ研修を実施

入職半年を振り返り、同期の職員がどのように活躍しているのか、また、異職種間の交流や各職場業務間の理解を深めるために、9月5日（金）にフォローアップ研修を実施しました。研修には、事務職及び医療技術職の19名が参加、講演に引き続きグループ討論・発表を行いました。

「プロフェッショナル医療人とは」「病院長が期待する事務職、医療技術職とは」「今後の社会保障と診療報酬」などについて総務担当・神崎秀陽理事、附属滝井病院・高橋伯夫病院長らが講演しました。

法人

グループ討論・発表では、「職種間で信用・信頼関係を築くためには」を題材に活発な討議がされ、参加者からは、「3年後、5年後また研修で集まりたい」との声が多くありました。

大学側も中期経営目標「アクション2015」の中で、10年後の長期展望に立脚した人材育成を図るため、全学的な教育研修体系が求められており、リーダーシップ研修、マネジメント研修等を今後、企画しています。

事務職員に向けた講演会を開催

医療経営に関する知識の習得を目的とした講演テーマ「日本の医療提供体制の現状と課題…病院マネジメントの観点から…」を設定し、事務職を対象とした講演会を9月6日（土）に実施しました。

これは、大学病院という使命を担った医療機関に勤務する事務職としての能力開発の契機になることを意識したものです。同時に、研修内容の習得のみならず、事務職員もマネジメントスタッフとして学習する職能であることを認識するなど「自身での気づき」も意図しています。

受講者総数は他職を含め96名、内訳は附属枚方病院

40名、附属滝井病院28名、附属男山病院8名、大学事務局12名、大学情報センター4名、その他4名です。

受講者アンケート結果からみた講演会実施に関する評価では、概ね講演会の参加に対しては満足な結果が得られたと考えられます。参加者の意識を懸念しましたが、積極的な参加意識が示され、継続した学習の重要性も理解されました。

寄付金

平成20年度施設設備整備拡充事業資金へご寄付いただきました方々のご芳名を掲載して感謝の意を表します。（平成20年8～10月分）

〈個人〉

川口 雄才 様

葉名 さよ 様

田口 倭子 様

榊田 昌之助 様

〈法人〉

ケーエムユーシステム株式会社 様

関西医科大学への寄付は所得控除されます

■国の施策として、学校法人への寄付が促進されています

近年、私学を取り巻く環境が厳しさを増す中で、各学校法人では経営基盤の強化が喫緊の課題となっています。そのための有効な手段の一つとして、文部科学省も寄付金の募集を推奨しています。また、学校法人への寄付を促進するための様々な税制上の優遇措置が整備されてきています。

■ご寄付いただいた場合の優遇措置は次のとおりです ～個人の場合～

本学は、教育または科学の振興、文化の向上、社会福祉の貢献その他公益の増進に著しく寄与する法人として、「特定公益増進法人」の認定を受けています。

特定公益増進法人に対する寄付は、税制上の優遇措置（寄付金控除）の対象とされており、下記算出額がその年の課税対象所得から控除されます。

◆◆今年ご寄付をいただきました方◆◆

※確定申告が必要です

来年の確定申告期間（平成21年2月16日（月）～3月16日（月））に、下記の書類を添付して確定申告を行って下さい。今年の所得税が減額されます。

◆◆ご寄付をお考えいただいている方◆◆

今年の所得でこのような寄付金控除を受けられたい場合は、今年12月末までにご寄付をいただきますようご検討をお願いします。

※法人でのご寄付にも税金優遇措置があります。受配者指定寄付金制度を利用すれば、**寄付金全額が損金に算入**されます。詳しくは募金室へお問い合わせ下さい。次号では法人用の優遇内容をご説明します。

<お問い合わせ>

大学事務局 募金室 06-6993-9556（直通）

寄付金控除の内容

寄付金控除額は次の式で算出します。

寄付金額 (年間所得額の40%が限度)	－	5,000円	＝	寄付金控除額
------------------------	---	--------	---	--------

例えば…◎総所得額が1,000万円で100万円の寄付をされた場合、995,000円

◎総所得額が1,000万円で500万円の寄付をされた場合、3,995,000円

控除手続きに必要な書類

- ①寄付金受領書
- ②特定公益増進法人証明書（写）

ご寄付をいただきましたら、上の2点を大学から送付いたしますので、確定申告書に添付して手続きをして下さい。

大 学

平成19年度「学生からの教育評価」に基づく表彰式を実施

平成19年度「学生からの教育評価」に基づく表彰は、10月14日(火)開催の全学教授会及び10月28日(火)開催の専門部教授会において、次のとおり行いました。

関西医科大学教育奨励賞

科目部門

授業・実習科目部門

- 第1位 病理学2
- 第2位 薬理学
- 第3位 健康・スポーツ医学

チュートリアルコース部門

- 第1位 感染症コース
- 第2位 周産期・生殖器官コース
- 第3位 医療人間学入門コース

臨床実習科目部門

- 第1位 整形外科科学
- 第2位 泌尿器科学
- 第3位 附属男山病院

教員部門

レクチャー部門

- 第1位 宝谷 剛志 講師(解剖学2)
- 第2位 垪 貴司 講師(病理学2)
- 第3位 稲葉 宗夫 准教授(病理学1)
- 第5位 比舎 弘子 講師(病理学1)

チュートリアルコースレクチャー部門

- 第1位 垪 貴司 講師(病理学2)
- 第2位 伊東 秀文 准教授(神経内科学)
- 第3位 和手 麗香 助教(神経内科学)
- 第4位 足立 靖 准教授(病理学1)
- 第5位 荒木 敦 講師(小児科学)

関西医科大学教育努力賞

科目部門

授業・実習科目部門 該当なし

チュートリアルコース部門

- 第1位 診断学コース
- 第2位 呼吸器コース
- 第3位 外科総論コース

臨床実習科目部門 該当なし

教員部門

レクチャー部門

- 第1位 森 徹自 講師(解剖学1)
- 第2位 河野 比良夫 講師(衛生学)

チュートリアルコースレクチャー部門

- 第1位 古川 昌幸 准教授(耳鼻咽喉科学)
- 第2位 神島 宏 准教授(内科学2)

若手の女性科学者をたたえる賞に形成外科・覚道助教

優れた研究成果を挙げた若手の女性科学者をたたえる「ロレアル・ユネスコ女性科学者日本奨励賞」の今年の受賞者4人のうちの1人に本学形成外科学講座・覚道奈津子助教が選ばれ、8月26日(火)東京都内で授賞式がありました。

覚道助教は、手術などで吸引した脂肪の中から幹細胞を取り出し、培養して骨をつくり出した功績を認められました。(写真は、授賞式での覚道助教)



学 事

枚方病院を施設見学、好評だったオープンキャンパス

8月16日(土)附属枚方病院で初となる今年度のオープンキャンパスを開催しました。当日は午後1時から山下敏夫学長の挨拶に始まり、藪田精昭専門部教務部長によるレクチャー、大学紹介DVD放映の後、同2時から3回に分かれての施設見学、平行して個別相談会を行いました。

参加者は高校1年3名、2年13名、3年34名、既卒者13名、同伴者77名の合計140名でした。

附属枚方病院での受験生を対象としたイベントは初の試みでしたが、盛況のうちに終了しました。



リアククの説明を熱心に聞くオープンキャンパス参加者

〔プログラム〕

・挨拶 学長 山下 敏夫

・レクチャー

「関西医科大学のキャンパスライフ」

専門部教務部長 藪田 精昭

・DVD放映

「創立80周年記念DVD」「附属枚方病院の紹介」

・施設見学(3部制)

手術部・合同医局・外来(内視鏡センター)・健康科学センター・総合リハビリテーション・放射線治療部(リニアック)

・個別相談会

(受験相談・奨学金・学納金他/学生生活)

終了後、参加者にアンケートをお願いし、72名から回答を得ました。その結果、施設見学が好評で、全体の内容については84%が「よかった」との回答でした。

学 事

チュートリアル教育の今後の方向性を探る

26回目を迎えた医学教育ワークショップ

今年で第26回目を迎える関西医科大学医学教育ワークショップは「本学のチュートリアル教育の歩み—今後の方向性を探る—」をテーマに、8月9日(土)午前9時から大阪キャッスルホテルにおいて、山下敏夫学長をはじめスタッフフォース担当の教務委員会委員9名、教員・学生50名の参加を得て開催しました。第1回は昭和58年に開催しており、それ以後、本学の医学教育改革の歩みと軌を一にして、本学におけるFD活動の枢要な位置づけとなっています。

ワークショップ当日は、午前中に岐阜大学医学系研究科医科学専攻(分子・構造学)寄生虫学分野 高橋優三教授から「岐阜大学医学部 PBLチュートリアル」と題した講演をしていただき、引き続き本学内科学第二講座西川光重教授による「本学のチュートリアル教育の歩み」、藺田精昭専門部教務部長の「本学のチュートリアル教育の評価」の講演がありました。

午後には午前中の講演を踏まえ、5つのグループに分かれて、各テーマ(1.コース設定など全体設計について:見直しは必要か、2.シナリオの作成・改変について、3.チュータ制度の課題・問題点、4.学生側の問題点:チュートリアルの意義をどのように理解させるのか、5.チュートリアルを超越した本学独自の教育法の創造について)に基づき現状を多方面から分析し、また問題を発掘し、さらなる充実のため改善方策を見出すことを目的としてグループ討議を行い、その後懇親会を開きました。



教育ワークショップには、教員・学生59名が参加

今回のワークショップの全般的な評価をアンケートしたところ、「かなり価値あり」42.3%、「いくらか価値あり」40.4%、「きわめて価値あり」7.7%で合計が9割以上を占めました。内容に対する時間量は、「ほぼ適当」46.2%、「やや多い」32.7%、「多すぎ」11.5%の順。内容の難易では、「ほぼ適当」67.3%、「やや難しい」19.2%、「少し易しい」9.6%でした。教育効果については、「かなり効果的」42.3%、「ある程度効果的」40.4%の二つで大半を占めました。

診療参加型臨床実習FDを開催

平成20年度5学年からのカリキュラム変更に伴い、平成21年1月からの診療参加型臨床実習をより充実した実習とするため、教務委員会の主催により11月4日(火)午後3時30分から附属滝井病院南館臨床講堂にて診療参加型臨床実習FDを開催しました。

藺田精昭専門部教務部長の開会挨拶のあと、京都大学医学部医学教育推進センター 平出 敦教授から「京都大学での試み」と題した講演をいただき、引き続き本学小児科学講座木下洋准教授による「小児科の選択制臨床実習」、本学整形外科科学講座兒島 新講師による「整形外科の選択制臨床実習」の講演がありました。講演終了後は、教員・看護師・学生など90名を超える参加者からの質疑応答などが行われ、盛況に幕を閉じました。

なお、当日の講演を踏まえて後日各講座から報告書が提出されることになりました。

大学院入学試験実施、合否結果

平成21年度前期大学院博士課程入学試験は、8月30

日(土)に専門部学舎において実施しました。午前9時30分から12時まで外国語試験、午後から専攻別授業科目試験を行いました。受験者は11名、同時に行った論文博士語学試験には3名が受験しました。合格発表は9月26日(金)の正午に本学大学院掲示板に掲示するとともに、本人宛郵便により通知しました。合格者は大学院博士課程入学試験10名、論文博士語学試験1名でした。

平成21年度の科学研究費補助金
今年度より7件増の287件を申請

本学は、平成21年度科学研究費補助金(新学術領域研究を除く)の計画調書を11月10日(月)、文部科学省及び日本学術振興会に提出しました。申請件数は、平成17～19年度の3年間は逡減傾向にありましたが、学長の強い要請もあって20年度は280件と大幅な伸びを示し、さらに21年度は、287件と微増ですが、7件増の申請となりました。

大 学

実験動物慰霊祭を執行

第34回実験動物慰霊祭は、10月1日(水)午後1時30分から専門部学舎2号館南棟遺伝子治療室において、山下敏夫学長、藤澤順一実験動物飼育共同施設長はじめ関係教職員多数が参列のもとに無宗教形式で実験動物に対する供養を行いました。

同慰霊祭は、藤澤施設長の「慰霊の辞」(写真)の後、山下学長から順次、参列者全員が祭壇に献花をしました。

学長、白菊会会長ら
解剖体慰霊碑供養を実施

平成20年度の解剖体慰霊碑供養は、10月15日(水)午前11時から京都臨済宗本山建仁寺塔頭正伝永源院内の本学解剖体慰霊碑前において、山下敏夫学長、平野利夫白菊会会長はじめ関係教授らが参列のもと、新仏の入魂ならびに供養の儀を行いました。

慈仁会全国懇談会を開催

恒例の慈仁会全国懇談会は、10月19日(日)午前11時から牧野キャンパスに1学年保護者79名、滝井キャンパスに2～6学年保護者254名が参加して開催しました。クラスアドバイザー教員とのクラス別懇談会、個別懇談会を中心に、滝井キャンパスでは図書館、10号館2階のチュートリアルルームの学内見学も行いました。滝井キャンパスは午後4時前に、牧野キャンパスは午後5時半に無事終了しました。

図 書 館



全国から63名の図書館員が参加

日本医学図書館研究会・継続教育コース
日頃の研究成果発表や意見交換

11月5日(水)から3日間、同窓会加多乃会館において、第15回日本医学図書館研究会・継続教育コースを本学が主催し、全国から医学医療情報を扱う図書館員63名が参加しました。

研究会では館員の日頃の研究成果が発表され、学習・教育支援について意見交換が行いました。継続教育コースでは、「地域への医療情報提供について」、

「電子資料の永続的保存について」、など計4題の講演があり、図書館の今後のサービスや運用について参加者は大いに討論しました。

また、公衆衛生学講座の西山利正教授は「グルメの代償としての食品媒介による寄生虫疾患について」をテーマに講演。希望者には図書館や歴史資料室を見学していただき、盛況のうちに3日間の日程を終えました。

病 院

附属枚方病院

大学病院医療安全相互チェックを受審
病棟やME・化学療法センター視察

枚方病院は、10月31日（金）第3回私立大学病院医療安全相互チェックを受審しました。ラウンド実施病院は兵庫医科大学がメイン校で近畿大学がサブ校でした。

実施内容は、「医療安全現場確認表」に基づく内容確認と現場視察で、当院からは今村洋二病院長と岡崎和一医療安全管理部長他の関係者が出席。11N病棟、11S病棟、MEセンター、化学療法センターなどの現場を視察しました。

視察後の総評では、兵庫医科大学医療安全管理部の山本憲康医師から、「最新の設備でハイテク機器を充分に利用した安全対策がなされている」との評価と、「予防接種の抗体把握等については個人に依存し過ぎているのではないか」との指摘がありました。今後も引き続き一人ひとりが医療安全に対する意識を高く掲げていきたいです。

*医療安全相互チェックとは私立医科大学協会が提唱し、私立大学病院での医療事故の防止、安全性向上のために第三者的視点から検証を行うことを目的とした体制です。

2回目の災害訓練を実施

ハリー、クイック、そして確実に

10月4日（土）に枚方病院で2回目となる災害訓練を実施しました。今年の訓練は「ハリー（Hurry）・クイック（Quick）・そして確実に」をキャッチフレーズに、近隣遊園地のレストランでガス爆発事故が発生したとの想定で、災害発生後、多数の傷病者の搬送要請連絡を受け、院内の緊急連絡網により関係者を召集。必要資器材を持ち寄り各ゾーンの立ち上げから訓練がスタートしました。

救急隊から予想以上に早く患者搬送が行われるなど、多少の混乱はありましたが、参加したスタッフは本番さながら真剣に取り組み、昨年以上に充実した訓練となりました。枚方寝屋川消防組合の窪田浩救急課長からも訓練全般にわたり高評をいただきました。



運び込まれた患者の容態を確認、各ゾーンでは真剣そのもの

近畿府県合同防災訓練に参加

9月1日（月）の防災の日に、近畿2府4県の合同防災訓練が岸和田市の沖合いにある「ちきりアイランド」で開催されました。大阪府下の災害拠点病院に医療支援活動として設置されているDMATに派遣要請があり、本学では枚方病院と滝井病院が参加しました。

マグニチュード8.6の地震（東南海・南海地震）による大規模災害を想定した訓練で、関西医大の2チームはそれぞれ大規模列車事故による車両からの傷病者救出訓練やクラッシュした乗用車からの重傷者の救出、搬送を行いました。この日は大阪府の橋下徹知事を始め、福田康夫首相（この日の夜に辞任表明）も視察に訪れ、参加者は本番さながらの訓練に取り組みました。

* DMAT=Disaster Medical Assistance Teamの略で、災害時の医療援助チームのこと

第94回近畿病歴管理セミナー 診療情報管理士の認知度アップを

第94回近畿病歴管理セミナーが10月10日（金）「メセナひらかた」で開催されました。

このセミナーは近畿地区を中心とした診療情報管理業務担当者（主に診療情報管理士）への教育、情報交換、診療情報管理体制の整備、発展の支援を目的に活動している施設会員制の研究会です。今回は枚方病院が開催病院となり、145名の参加者がありました。

今村洋二病院長の開催挨拶に始まり、今回のテーマ「診療情報管理士教育の現状と将来」についての基調講演へと続きました。午後からは循環器内科の木村稔准教授による「IT医療情報管理システムによるメタボリックシンドローム介入」をテーマにした教育講演もあり、パネルディスカッションは、当院医療情報部の石原久美子さんを始め、診療情報管理士の専門学校教師と近畿病歴管理セミナー教

育部会所属の参加者が「診療情報管理士教育の現状と将来」について活発な議論を交わしました。

セミナー終了後には病院見学会を実施、13階のレストラン「のぞみ」で懇親会を行い、盛会裏に終了しました。開催病院の責任者は、「まだまだ、認知度が低い診療情報管理士ですが、当院医療情報部に3名在籍しており、今回のセミナー開催をいい経験とし、幅広く皆様に業務を認知いただけるよう、診療情報管理と医療現場に要求される情報提供を心がけます。」と決意を新たにしていました。



病 院

附属滝井病院

患者満足度調査 選んだ理由「インターネット検索」25%

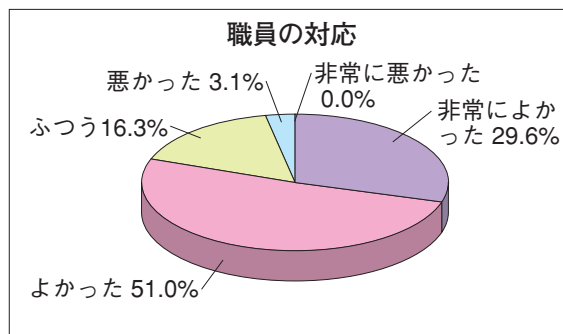
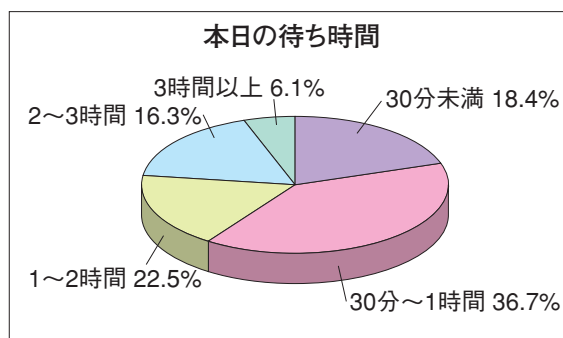
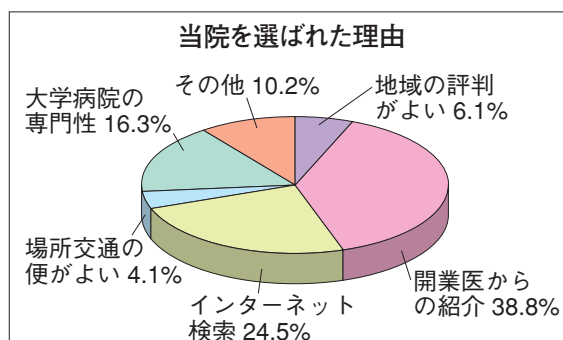
患者さんの要望をお伺いするために初診の方を対象に「患者満足度」アンケート調査を8月20日～26日の期間で実施、1,577件の回答が寄せられました。結果は、右図のとおりです。

「当院を選ばれた理由」として、「開業医からの紹介」がトップなのは当然として、二番目に多かったのが「インターネット検索」。やはり、家庭にインターネット環境が普及したこと、及び迅速・簡単に最新の情報が得られることが考えられます。病院のホームページは、常に最新情報を提供できるよう心がけねばなりません。三番目は、「大学病院の専門性」。今後とも各科が独自の専門性の高い医療を患者さんに提供しなければなりません。

“待たされる”と言えは真っ先に思い浮かべるのが病院。待つことを覚悟しているとはいえ、一般的な調査では、30分待てばイライラすると言われています。「待ち時間」調査では、30分～1時間が最も多く、最大で3時間以上待ったというのが6.1%もあり、これに対しては何らかの対策を講じる必要があります。

「職員の対応」は、「非常に良かった」と「よかった」の合計が8割を超えています。が、「ふつう」と「悪かった」が2割弱あり、まだまだ改善しなければなりません。

「悪かった・非常に悪かった」の理由を聞くと「患者さんへの言葉づかい」が圧倒的に多く、患者さんの立場に立って対応することが大切です。



時間外応急診療教育を開催

時間外応急診療体制を確立するために当直者に対して時間外応急診療教育講習が7月19日(土)、8月2日(土)、8月16日(土)の3回にわたり南館7階大会議室にて開催しました。

【第1回目】

- 1.腎疾患患者と周辺疾患への応急対応
- 2.血液疾患患者の応急対応
- 3.脳血管疾患患者の診断と応急対応
- 4.消化系疾患で来院する患者への応急対応
- 5.プライマリケアのための臨床検査
- 6.高血圧および関連疾患の応急対応
- 7.脳卒中超急性期、tPA静注と血管内治療
- 8.胸痛患者の応急対応

【第2回目】

- 1.鼻出血など耳鼻科疾患の応急診療
- 2.内分泌・糖尿病患者の応急診療
- 3.呼吸器疾患患者の応急対応
- 4.救命救急診療の心得
- 5.心療内科的患者の応急診療

【第3回目】

- 1.応急診療で想定される画像診断の解説
- 2.泌尿器疾患の応急診療
- 3.小児疾患の時間外診療の特徴と応急対処法
- 4.整形外科疾患の応急対応
- 5.精神疾患患者の応急対応
- 6.時間外診療で遭遇する眼科疾患の特徴と応急対応
- 7.産婦人科領域の応急診療
- 8.不整脈の応急診療

病 院

わかりやすく肝臓病教室

7月1日付で大阪府肝疾患診療連携拠点病院に指定された滝井病院では、地域住民の皆様を対象に肝臓病教室を2回開催しました。教室では連続開催として、それぞれのテーマを医師、運動指導士、看護師、管理栄養士がわかりやすく説明しました。

【第1回目】

日 時：平成20年9月9日(火)午後3時30分～午後5時00分

場 所：南館7階小会議室

テーマ：肝臓病をもつ人の日常生活の注意

1. 肝臓の働きと肝臓病(慢性肝炎・肝硬変)
2. 運動はしてもだいじょうぶか
3. どれくらいの安静が必要か
4. なにを食べたらいいか
5. お酒は飲めるのか

【第2回目】

日 時：平成20年11月29日(土) 午前10時30分～正午

場 所：本館6階臨床講堂

内 容：

1. C型肝炎の最新治療
2. 薬を有効にいかすためには
3. 知っておきたい治療費のこと-肝炎助成制度-

第1回滝井クリニカルパス大会を開催

作成時の注意点など入門編

初めての滝井パス大会が9月12日(金)午後5時30分～6時30分、南館2階臨床講堂において「消化器肝臓内科におけるDPC導入時パス改訂について」と「パス作成時の注意点」をテーマに消化器肝臓内科でのパスの見直しを紹介するとともに、パス作成にとまどいがある医療スタッフの皆さんに、作成時の注意点を分かりやすく解説していただく入門編として開催しました。

平成21年4月から敷地内禁煙



健康増進法第25条のに基づく行政機関からの要請および安全衛生委員会の決議事項を踏まえ、附属滝井病院では平成21年4月から病院敷地内を全面禁煙とすることになりました。

つきましては、現在南館および北館にあります喫煙場所は平成21年3月31日をもって閉鎖されます。

臨床工学センター

人工呼吸器講習会を開催

臨床工学センター呼吸器ケア実践会が中心となり院内安全教育研修の一環として人工呼吸器講習会を11月6日(木)午後5時30分～6時30分南館2階臨床講堂において「換気モードについて」をテーマに開催しました。

今年度の保健所

立入検査実施される

大阪府守口保健所による平成20年度病院立入検査が10月9日(木)午後1時30分から実施されました。また、精神科病院実地指導が10月27日(月)午後1時30分から大阪府地域保健課および大阪府守口保健所により実施されました。

いずれについても、医療法違反事項およびその他法令違反等はありませんでしたが施設内禁煙について再度周知するよう要望がありました。



患者と家族のための滞在施設

守口ぶどうのいえ

入院患者さんの付き添い家族が滞在できる施設「守口ぶどうのいえ」を紹介しましょう。3年前に守口復活教会の会館に併設されたもので、附属滝井病院からほど近く、歩いて行ける距離にあります。京阪電車「土居」駅から徒歩2分。傷病を抱える患者さん・付き添いとして遠方から来られる家族の方々には心身ともに癒され、低料金で安心して利用できる施設です。このサポート・ハウスの存在を知らないために、やむを得ずホ

テルに泊ったり病院のソファーなどで寝ている方は、是非、ご利用ください。

2007年11月～2008年10月までの1年間の延べ利用者数は、約500人。ほとんどが滝井病院関係の方(一部枚方関係)だそうです。

建物は、鉄筋コンクリート造り、一般のビジネスホテルよりも設備が整い、きれいです。洋室シングルルームが5室、利用料は1室1日2,000円。

お問い合わせは、附属滝井病院医療福祉相談課(内線 3180)・附属枚方病院医療福祉相談課(内線 (80)3058)まで。

病 院

NST専門療法士臨床実地研修を実施

日本静脈経腸栄養学会の規定による教育認定施設でNST（栄養サポートチーム）稼働施設でもある滝井病院で10月6日（月）～10月10日（金）の5日間、NST専門療法士臨床実地研修を実施しました。今回研修したのは、院外の研修生3名（薬剤師1名・管理栄養士2名）です。

参加した研修生のアンケートには、「カリキュラムの構成は様々な部署の方に時間を割いていただき、内容も充実しており、また機会があれば参加したい。医師を中心にコメディカルが積極的にチーム活動されており看護師のモチベーションが高くNST活動がスムーズに進んでいると思った」などの意見がありました。

滝井病院NST委員会では、来年度以降も研修を予定しています。今後ともNST委員会にご協力、宜しくお願いいたします。

滝井病院ホームページに
看護部のページをUP

滝井病院ホームページに看護部のページを大幅に更新し公開しました。トップページのほか「看護部の理念」、各病棟や手術室のスタッフによる「病棟紹介」、看護部独自の「院内教育」や「委員会活動」、出身校がわかる「先輩ナースの声」のページを公開しました。続いて男性看護師紹介ページ「頼れるNURSEMEN活躍中」を公開しています。

看護部のページは、滝井病院ホームページ

<http://www2.kmu.ac.jp/hospital/>からご覧ください。

附属男山病院

夜間出火想定し消防訓練
救助袋で脱出や実際に放水

男山病院では、10月30日（木）午後2時から3時にかけて、第六病棟湯沸し室からの夜間出火を想定して消防訓練を実施しました。

訓練当日は、3階から救助袋を使ってすべり降りる脱出訓練や消火器の使用方の講習（写真）、また、八幡市消防署員の計らいにより、当初予定されていなかった実際に放水を行う屋内消火栓の講習も行われました。訓練参加者のみならず周りにいた見学者も、消防署員の話に熱心に耳を傾け、改めて防火意識を高めました。



第11回市民公開講座

附属滝井病院

- 日 時：平成21年2月7日（土）
午後2時～4時10分
場 所：守口文化センターエナジーホール
受講定員：約400名
演 題
- ・「メタボリックシンドロームの予防と治療」
病院長 高橋 伯夫
 - ・「パーキンソン病の初期症状」
神経内科部長 日下 博文
 - ・「肝臓病の基礎知識－肝がんにならないために」
副病院長 關 壽人

附属男山病院

- 日 時：平成21年1月17日（土）
午後2時～4時10分
場 所：八幡市立生涯学習センター
受講定員：約250名
演 題
- ・「鼠径ヘルニア（脱腸）って何？」
外科部長 小倉 徳裕
 - ・「動脈硬化症の予防」
副病院長 高山 康夫

卒後臨床研修センター

来年度採用研修医 本学のマッチング結果

平成21年春卒業予定の医学生と研修受け入れ病院の両方の希望をコンピューターで突き合わせる「マッチング」の結果が10月16日（木）、発表となりました。大学病院に行く医師の割合は、49.1%と4年連続、半数を割り込み研修医の大学病院離れの傾向が定着している形です。本学でも充足率は、附属枚方病院52%、附属滝井病院20%、総計では38%と定員を大きく割り込んでいます。そこで、アドホック委員会では、研修プログラムの見直し及び待遇改善などを含め研修医確保対策に取り組んでいます。

本学のマッチング結果は、下記のとおり。

附属枚方病院（定員50名）26名（本学出身者19名）

附属滝井病院（定員40名）8名（本学出身者 8名）

総 計（総定員90名）34名（本学出身者27名）

近畿圏循環型医療人キャリア形成プログラム 山下学長が大学間協定に調印

「近畿圏循環型医療人キャリア形成プログラム」における近畿圏循環型選択コースの運用に関する大学間協定調印式が10月2日（木）午前10時50分から大阪北区のホテルグランビア大阪において近畿の4私立医科大学の学長らが出席して行われました。

本学からは山下敏夫学長が、また大阪医科大学の植木實学長、兵庫医科大学の波田壽一学長、近畿大学医学部の塩崎均医学部長それぞれのトップが協定書に調印、コーディネーター、事務担当者が見守る中、調印式が行われました。

これは、文部科学省が平成20年度から新規に「大学病院連携型高度医療人養成推進事業」として実施するもので、大阪医科大学が主幹校として提出した同プログラムが採択されました。近畿圏の4私立医科大学（主幹大学：大阪医科大学、関西医科大学、兵庫医科大学、近畿大学医学部）と近隣の4国公立大学医学部（京都大学、大阪大学、大阪市立大学、和歌山県立医科大学）及び関連病院が連携することにより若手医師のキャリア形成を支援するものです。



調印式には、山下学長が出席

附属看護専門学校

愛友祭 ～深めよう地域の絆～ 地域と交流深める

第29回附属看護専門学校 学校祭は、テーマに「愛友祭 ～深めよう地域の絆～」を掲げ、10月3日（金）教養部体育館にて球技大会、4日（土）高殿校舎にてバザー（写真下）、健康相談、妊婦・老人体験、車椅子体験、ちびっこコーナーやお茶席、模擬店などの催しを行いました。

地域の子どもさんから高齢の方までおいでいただき、午前11時から午後3時の短い時間でしたが、交流を深めることができました。



オープンキャンパスに総勢190名

平成20年度のオープンキャンパスを、7月31日（木）・8月5日（火）・8月12日（火）の午前中、総勢190名参加のもと高殿キャンパスで開催しました。

当日は、看護専門学校の歴史を示すDVDの視聴やパワーポイントによるカリキュラムや学校生活の紹介、入学試験、本校奨学金制度等の説明の後、施設見学を行いました。

また、本年度より、希望者には午後から臨地実習施設である附属枚方病院の見学を行い、3日間で55名の参加者がありました。保護者を含めた参加者からは、施設設備はもちろん職員の皆様の対応に好意的な意見が多く聞かれました。

キャンパス ニュース

今年のテーマは「JUST DO IT」 牧野キャンパスで霜月祭



大学祭（霜月祭）は、10月31日（金）～11月2日（日）の3日間、牧野キャンパスで開催されました。今年のテーマは『JUST DO IT!』とし、「とにかくやるしかないんだ」という強い意志を持って、目の前のことを乗り越えることの意味が込められています。

催し物では、医学博（展示、健康チェック等）、クラブの展示、バザー、模擬店があり、ステージでは各学年のイベント、野外ライブ、ルー大柴のトークショーなどで賑わいました。

また、11月1日（土）枚方市民会館で開催された「創立80周年記念式典・講演会」の様子を教養部第2教室で同時放

映し、学生・教職員・保護者など約70名の参加がありました。

なお、この行事を通じて学生間の共同作業による連帯感や教職員・同窓生・地域の方々との交流も深められ、意義深い大学祭となりました。



西 医 体 成 績

昭和24年に始まり今年で60回を迎えた西日本医科学学生総合体育大会（代表主管校：広島大学）が7月31日（木）から8月15日（金）にかけて開催され、3月に実施済みのスキーと合わせ、参加校44校、21競技で熱戦が繰り上げられました。本学からはスキーを含めた18競技に参加し、総合成績5位の成績を修めました。優秀成績は以下のとおりです。

種	目	個人氏名	順位
バスケットボール	男子団体	—	2位
陸上競技	男子総合	—	1位
	男子トラック部門	—	1位
	男子200m	加藤 正吾	2位
	男子400m	加藤 正吾	1位
	男子1500m	小路 祥紘	3位
	男子5000m	小路 祥紘	1位
	男子3000mSC	曾根 尚之	2位
	男子4×100mリレー	—	1位
	男子4×400mリレー	—	2位
	男子棒高跳	西岡 靖幸	3位
	男子走幅跳	江草 豪	3位
	水 泳	男子100mバタフライ	久次米 佑樹
男子100m背泳ぎ		吉田 龍法	5位
女子総合		—	1位
女子200m自由形		桑名 香代子	2位
女子400m自由形		桑名 香代子	1位
女子50mバタフライ		金子 朋加	3位
女子50m平泳ぎ		仲井 えり	2位
女子100m平泳ぎ		仲井 えり	2位
女子200m個人メドレー		—	4位
女子200mリレー		—	2位
女子400mリレー	—	3位	
女子200mメドレーリレー	金子 朋加	1位	
空 手 道	男子個人戦	宮原 拓真	2位
弓 道	男子個人戦	木戸 健陽	5位

メディア出演

教職員メディア情報

新聞・雑誌・テレビ等マスコミの取材、テレビ出演、また記事を掲載された教職員の方々を紹介します。
(平成20年8月1日～11月20日)

覚道 奈津子 助教 (形成外科学講座)	読売新聞 朝刊、 SANKEI EXPRESS他 8月27日(水)	若手女性科学者を支援する「第3回ロリアル・ユネスコ女性科学者日本奨励賞」を受賞
吉田 清和 診療教授 (整形外科科学講座)	産経新聞 朝刊 9月18日(木)	「日本はもっとコミュニケーションの重要性を認識する必要がある。医学教育の中にもっとコミュニケーション・スキルを学ぶ場を取り入れるべきである」と強調されている。
今村 敦 講師 (外科学講座)	毎日新聞 夕刊 10月11日(土)	からだと心 相談室 出産後、太ももやひざの裏に静脈が浮き出る。「潰瘍ができていれば、外科的治療の対象」悩み相談に紙上回答。
米虫 敦 助教 (放射線科学講座)	メディカルトリ ビューン誌 11月6日号/VOL.41 NO.45	悪性腫瘍の椎体転移に対する疼痛緩和における経皮的椎体形成術(骨セメント療法)の有用性についての内容
西山 利正 教授 (公衆衛生学講座)	ABC(朝日放送) 11月8日(土)	「おはよう朝日」～土曜日です～ 「コレ知恵ック」のコーナーで「インフルエンザ素朴な疑問」の回答者として出演
松田 公志 教授 (泌尿器科学講座)	読売テレビ 11月16日(日)	「テレビドクター」 「手術の傷が小さく回復が早い～泌尿器科での腹腔鏡手術～」がテーマ
三宅 真理 助教 (公衆衛生学講座)	読売新聞 朝刊 11月15日(土)	「くらしと教育」の「健康プラス」欄に旅行をきっかけに生活習慣病を改善することを促している。
中邨 智之 教授 (薬理学講座)	読売新聞 朝刊 11月15日(土)	東京テクノ・フォーラム21のゴールド・メダル賞の受賞記念大阪講演会「弾性線維の劣化が老化を招く!？」
神原 憲治 非常勤講師 (心療内科学講座)	毎日新聞 8月31日・9月7日の 日曜日朝刊	続・女性の健康50話 第23話「こころとからだをつなぐ」、第24話「からだ向き合って対話」
杉本 貴美子 助教 (心療内科学講座)	毎日新聞 9月14日～10月19日 の毎週日曜日朝刊	続・女性の健康50話 第25話「女性外来の現状」、第26話「多くの性差」、第27話「仕事を続ける難しさ」、第28話「切り替えをうまく」、第29話「月経前症候群-PMS」、第30話「ストレス耐性を」
志田 有子 健康心理士 (心療内科学講座)	毎日新聞 10月26日～11月16日 の毎週日曜日朝刊	続・女性の健康50話 第31話「より健康に生きるとは」、第32話「自分で心身を整える」、第33話「からだをほぐすと心も」、第34話「気持ちいいと感じる」

メディア情報をお待ちしています

教職員の方々がメディアに登場された場合に掲載させていただきます。このコーナーは、皆様からの情報提供によって構成しています。テレビ出演が予定されている時は、前もって下記の情報連絡先までご連絡下さい。

なお、このメディア情報欄に紹介するのは、朝日、産経、日経、毎日、読売の5大紙およびNHK・毎日・朝日・関西・読売の各テレビ局、主要な月刊誌、週刊誌等に取り上げられたものに限定させていただきます。

情報連絡先: 総務部広報課 ☎06-6993-9672(内線2138) ✉kmuinfo@takii.kmu.ac.jp

お知らせ

通報・相談窓口について

本学では、下記のとおり公益通報やハラスメントに関する通報・相談窓口を設置しています。

1. 公益通報窓口:内部監査室

○具体的な通報手順は各部署の掲示板に掲示しています。

2. セクシュアルハラスメント相談窓口

(1)学内相談窓口:各部署相談担当者

(2)学外相談窓口:ウイメンズカウンセリング
京都
(TEL 075-222-2133)

3. その他

職員の皆さんから意見等をお聞きするために各部署に意見箱を設置しています。

第5回フットサル大会、男山が優勝

レクリエーション実行委員会企画による「第5回フットサル大会」は、10月5日(日)にコ・スパ御殿山にて、参加5チームによる熱戦が展開されました。成績は次のとおりです。

優勝: T c h a u 男山

準優勝: 品川倶楽部

第3位: F. C. C. U

同窓会グッズ

同窓会では、関西医科大学の紋章をあしらい国際的に通用する斬新かつ風格のあるデザインをとりいれ、同窓会創立50周年(1983年)を記念してブローチ・チョーカーを、また大学創立60周年(1988年)、そして今年の大学創立80周年(2008年)を記念してネクタイ・スカーフを作製しました。

購入希望者は、下記の同窓会事務室までお申し込みください。

ネクタイ(A) 紺色 学生や若い方対象

ネクタイ(B) 茶色 アダルト向きでシックな色調

スカーフ 紋章を模様に取り入れています

(ネクタイ・スカーフの価格はいずれも4,000円、ブローチ・チョーカーは1,000円で販売しています。)



関西医科大学同窓会

〒570-8790

守口市平代町18番地 加多乃会館

TEL 06-6993-0121

FAX 06-6991-6221

「関西医科大学 広報」年4回発行

原稿お寄せください

広報誌は、今春の創刊号(5月25日)を皮切りに、臨時号として創立80周年記念号(6月25日)、Vol.2(8月30日)そしてこのVol.3の発行にこぎつけることができました。

この広報誌は、関西医科大学と教職員、学生、同窓生、保護者を結ぶコミュニケーションツールの一つです。年4回、季刊号として発行する予定です。皆様からの記事の提供、企画などありましたら、おしらせいただくようよろしくお願いいたします。次号は、来年1月に発行予定です。

編集後記

近くの神社で紅葉をゆっくり楽しもうと思ったら、あつという間に冬です。町は、師走になりなんとなく慌しい今日この頃です。インフルエンザの流行る時期でもあります。先だって公衆衛生学の西山先生がTVで話をされていました。インフルエンザ予防接種は、2回打ちが大事。免疫効果が高く、重症化することが少ないなど。今年、海外旅行に行く人にもいいらしい。ワクチンがWHO推奨の抗原性と同じで、どこの国でも有効とか。年末年始を利用して海外旅行を計画している人は、今が、打ち時です。

さて、今回発行の広報Vol.3は、創立80周年記念式典・講演会を取り上げました。ホールがいっぱいになるほど盛況でした。iPS細胞で有名な京大の山中先生が、記念講演。この研究に取り組むようになった契機、米国での研究生活、家族の話などウィットに富んだはなし方で、聴衆を飽きさせない。これが、話術なんだ。普通なら、眠くなる難しい内容かと思いきや、最後まで聞き入りました。「先ほど、学長がビジョン(V)を示されたので、後は皆さんのワーク(W)ですね」とフォルクスワーゲンの車を映された時には、会場がどっと沸き、同感、同感。思わず拍手。

高度医療人育成制度については、泌尿器科・松田教授に執筆していただきました。本学独自の制度を“育成制度の骨子”を掲載しています。本学からスーパードクターが生まれんことを願う次第です。(MN)

関西医科大学広報 Vol.3

発行 学校法人 関西医科大学

編集 総務部 広報課

〒570-8506大阪府守口市文園町10-15

Tel 06-6992-1001 (代表)

Fax 06-6993-5221

<http://www.kmu.ac.jp/>

E-mail kmuinfo@takii.kmu.ac.jp

平成20年12月1日(月)発行